学校番号	204

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（第一学習社）						
副教材等	意味と書き分けがわかる　漢字 Lab3500（浜島書店） 現代文解法のテクニック３（啓隆社） 常用国語便覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理的な文章、実用的な文章を扱い、読むことや書くことを通じて、実社会に役立つ国語の知識や技能を身につけるための授業です。週に一度漢字テストを行います。

自分で学習の目標を設定し、目標実現のための具体的な学習計画を立て、実行し、日々振り返ることで、学習力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 文や文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解を深めている。意見文を書くために必要な論の構成を理解している。文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。また、本文の構成における具体例の役割について的確に理解することができている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫している。筆者の主張と根拠を押さえた要約ができている。自身の主張と、それに対する根拠を書き出すことができる。	本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。また、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。 積極的に単元の学習を生かしながら、説明文や要約を書こうとしている。自分で学習の目標を設定し、目標実現のための具体的な学習計画を立て、実行し、日々振り返ることで、学習力を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 ［教材］ 人間という中心と、それよりも〈軽い命〉	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ［教材］ 身体の個別性	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[読]:根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c:筆者が指摘する「自己中心的利他性の弊」について自身に引きつけて考え、積極的に自身の考えを発表しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	ジェンダーをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ［教材］ ジェンダー化された身体の行方	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[読]:社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 c:現代の日本社会における問題の一つであるジェンダーについて述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 ［教材］ 資料を集めて情報を整理する	a:集めた情報を的確に整理する方法を理解する。 b[書]:資料の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 c:集めた情報を適切に整理しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
二学期	リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のありようについて考える。 ［教材］ リスク社会とは何か	a:文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:リスク社会における人間のありようについて考えたことを粘り強く文章にまとめ、積極的に発表しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を捉え、身の回りの制度について考える。 ［教材］ 目に見える制度と見えない制度	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:学習課題に沿って、身の回りにある「制度」の目的や役割についてまとめ、積極的に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	明治期の論説文における文語文体に触れ、時代背景をふまえながら筆者が主張する内容を理解する。 ［教材］ 漫罵	a:自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:積極的に明治期の文語文の漢文訓読体の特徴を理解しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題

二学期	イノベーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ［教材］ ローカル鉄道の改革と地域振興	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[読]:社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 c:学習課題に沿って、筆者の導入した改革によって起こった変化についてまとめ、積極的に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	課題文型小論文への対応のしかたを理解する。 ［教材］ 課題の文章を読んで情報を整理する	a:文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 b[読]:課題文の論旨と主題を読み取る方法を理解する。 c:積極的に課題文の要約の方法を理解し、要約文を作成しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
三学期	具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ［教材］ 「である」ことと「する」こと	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	一般の開化と日本の開化との違いを整理しながら筆者の主張を捉え、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 現代日本の開化	a:読書の意義と効用を理解する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c:既習の評論と粘り強く読み比べ、文章の内容や筆者の姿勢における共通点と相違点を整理し、積極的に発表しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題
	非正規雇用に関する文章と資料から必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて問題点をまとめる。 ［教材］ 日本の雇用形態に関わる文章と資料を読み比べる	a:情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b[読]:関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 c:複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、関連付け、解釈しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 提出課題	振り返りシート 提出課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　45　）時間